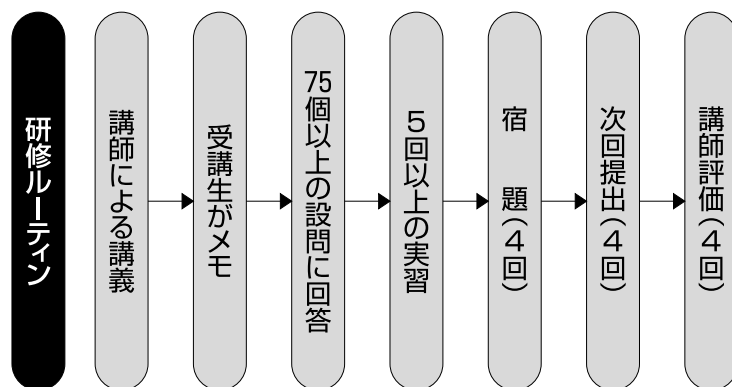


「プロの管理者」にしてお返しする“実践プログラム”

モノ作り! 管理者学校 金沢校

製造業限定
【2008年度版】
9月～12月まで
全4日間コース

一方通行の研修ではありません! **頭と体**で学ぶ、**双方向の研修**です!!



生産管理専門のコンサルティング会社
主催／株式会社 西田経営技術士事務所

あるプロ野球選手の話です。私は以前、この話をテレビで耳にした記憶があります。——「長打を打つためには、ダウンスイングに心がけ、ボールの中心点よりやや下をたたき、上向きのスピンをかけないとボールを遠くに飛ばすことができない。これがバッティングの原理原則である。しかし素人は、この原理原則を知らずに「ただ遠くに飛ばすぞっ!」といった気持ちだけが先行し、アッパースイングになっている。このようなスイングを何千回何万回行っても、長打は期待できない。」——と。

この話は、モノ作りの現場へも適用できます——。経営者であれば、モノ作りには材料を加工するといった“固有技術”と工程管理・品質管理・原価管理といった“管理技術”の二つがないと上手に商売ができないということは、理解されておられます。しかし現実には——。「売上は増加しているのに、最近利益率が低くなって来た」とか、「納期に追われているだけで、何をしているのか分からない」とか、「不良ばかりでクレームが絶えない」といった現象が顕著になっている工場も多いものです。

このように至るのは経営者にも原因はありますが、私の経験からすると現場や実務のキーマンである管理者が、“生産管理の原理原則”を知らずに、“勘・経験・度胸”だけで仕事をしているからなのです。

その証拠として、管理者につぎの質問をしてみてください。「“原単位”とは何か?」——。ズバリ申し上げて、この答えを出せないような管理者は、“生産管理の原理原則”を知らない人たちです。このような管理者が、いくら多くの汗をかいたとしても“労多くして益なし”の状態が続くだけで、一向に会社は良くなりません。

本プログラムは、管理者が現場で即実践できる手法を簡単に学べるよう工夫してあります。4日間とも“モノ作り”に絶対必要な項目です。

——生産管理と出会って31年——
株式会社 西田経営技術士事務所
代表取締役・技術士
プログラム開発者

西田 順生



対象者

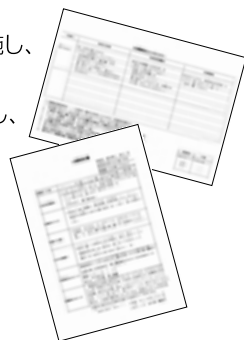
職種／製造、生産・品質・原価管理、資材購買、外注管理、設計、生産技術部門で働いている人
役職／リーダー、班長、主任、係長、課長クラスの人、中小企業の経営者でいちから生産管理を学びたい人（あるいは数年以内にそうなりそうな人）

本校の特徴

- (1) 毎月1回×4か月間開催
- (2) 頭と体で学べる
- (3) 双方向の研修
- (4) 定員30名に限定
- (5) 生産管理の基本から指導

理解を深めるための4つの仕掛け

- (1) 講師が講義したことを受講生がメモしていけないと、次の設問に回答できなくなったり、宿題がこなせなくなったりするよう仕掛けてあります。
- (2) 全4日間で75個以上の設問を設けてあります。それに回答していくことでより理解を深めていただけるように仕掛けてあります。
- (3) なお重要な項目については、全5回の実習を用意してあります。これによって体で覚えていただくよう仕掛けてあります。
- (4) さらに毎回の研修後に宿題を課し、次回提出していただくようにしてあります。具体的には、
 - ① チェックシートを使って「工場診断」を実施し、
 - ② 問題点を抽出し、
 - ③ 改善についての「個人ミッション」を作成し、
 - ④ 実際に改善をしていただきます。
 - ⑤ さらにその結果を「成果報告書」に書き、
 - ⑥ 経営層のチェックを受け、
 - ⑦ 次回研修会に持参して頂き、
 - ⑧ それを講師が評価します。



本校から体得できるノウハウ

- (1) 管理者として最低限知っておかねばならない“モノ作りの常識”
- (2) 原価上昇、品質・納期トラブル解消のための広義の生産管理技術
- (3) 4M（作業者、設備、材料、製造方法）を上手に管理する手法
- (4) 多品種少量、短納期に勝つ方法

このような企業様へ

- (1) 過去、管理者に対して、体系的な生産管理教育をしてこなかった企業様
- (2) 次世代の管理者に対して、体系的な生産管理教育を実施したい企業様
- (3) モノ作りの基本すら知らない管理者をいちから教育したい企業様
- (4) 経営者の意図をくんだ仕事をしない管理者を再度教育したい企業様
- (5) 納期遅延をいつまで経っても解消できない管理者を基礎から教育したい企業様
- (6) 品質問題をいつまで経っても減らせない管理者を基礎から教育したい企業様
- (7) 原価意識をもって仕事をしない管理者を基本から教育したい企業様
- (8) 作業員に対して、管理者の立場で話せない管理者をなんとかしたい企業様

**プログラム
[第1日目]**

モノ作りの常識と生産管理の常識

■セクションⅠ モノ作りの常識

1. 管理とは	管理することはどのようなことか
2. 管理監督者	ヒトは何のために生きるのか?
3. 生産管理とは	そもそも、生産管理って何?
	まずは、受注生産と見込み生産の違いを知れ!
	需要の三要素を明確に説明できるか!?
	生産の四要素を明確に説明できるか!?

■セクションⅡ 生産計画で経営が決まる

1. 生産計画が生命線	なぜ生産計画が必要なのか
	生産計画の種類
	生産計画に必要な情報
	生産計画の正しい立て方(実習)
2. 生産統制で手を抜くな	生産統制ってどんなことをするのか?
	生産統制が弱いと…?
	生産統制の中心は現品管理だ!
3. 納期遅延を減らすコツ	納期トラブルがなぜ発生するのか知れ!
	納期トラブルの回避方法はこれだ!
	信頼される工程管理要員になる方法
4. 外注は製造工程の一部である	まずは外注と購買の違いを知る
	外注品質の向上策はこれだ!
	外注品の納期トラブル回避策

■セクションⅢ 宿題

1. 一つでも改善せよ	工場診断の進め方、個人ミッションの作成と改善の実行
-------------	---------------------------

**プログラム
[第2日目]**

4Mを徹底管理せよ——その1

■セクションⅠ Man: 作業者の上手な管理方法

1. IE全般	IEとは何か?
	IEの歴史を知ることが大切だ!
2. 作業研究	モノ作りの基礎: 作業研究を学ぶ
	標準時間を持たずして、物は作ってはいけない!
	自社にあった標準時間の算定方法を学ぶ
	ムダとりの定石: 動作経済の20原則を知れ!
3. 単能工、多能工、知能工	多工程持ち、単工程持ち、多台持ちの違いは何か?
	多能工のメリットは何か?
	多能工化の正しい進め方
4. ムダとり	改善の基本精神10ヶ条
	7つのムダ
	ムダとりの定石: 作業工程分析を活用せよ!(実習)

■セクションⅡ Machine: 設備の上手な管理方法

1. 設備管理	設備6大ロスをいえるか!?
	負荷率、稼働率、操業率の違いを知っているか?
	設備総合効率を使って、設備をフルに動かせ!(実習)
2. 設備保全の正しい進め方	保全の種類とそれぞれの長短を学ぶ

■セクションⅢ 宿題

1. 前回の宿題のフォローアップ	工場診断の進め方、個人ミッションの作成と改善の実行
2. 次回の宿題について	次回の宿題について

**プログラム
[第3日目]**

4Mを徹底管理せよ——その2

■セクションⅠ Material: 材料の上手な管理方法

1. 在庫管理の正しい進め方	悪い在庫と良い在庫
	在庫の種類が書けるか?
	在庫が合わないのは、商物一致の大原則を知らないからだ!
2. 代表的な発注方式	在庫圧縮の効果を書けるか!?
	在庫を圧縮する具体的方法論
3. 材料のコストダウン	多くの企業が失敗している「カンバン方式」
	パソコンを駆使した「MRPシステム」
	材料のコストダウンには二つの方法しかない

■セクションⅡ Method: 方法の上手な管理方法

1. 技術力が将来を決定づける	固有技術と共有技術の違いを説明できるか?
	製品設計と生産設計の違いを説明できるか?
	技術標準が体系化されているか!?
2. 質の高い製品設計、工程設計をする方法	図面には、GTコードを使うことが原則である
	新製品立ち上げ管理と初期管理の違いが分かるか!?
	形骸化させてはならないDR(設計審査)
	トラブルを予測する技術:FMEAを学ぶ(実習)
	企画・設計段階から参画せよ: デザイン・イン
	コストダウンの王道: VEを学ぶ
	プロジェクトエンジニアリングの基礎を知る

■セクションⅢ 宿題

1. 前回の宿題のフォローアップ	工場診断の進め方、個人ミッションの作成と改善の実行
2. 次回の宿題について	次回の宿題について

**プログラム
[第4日目]**

原価・品質管理の基本と多品種少量・短納期生産

■セクションⅠ 原価管理の基本を学ぶ

1. 原価管理のイロハ	原価と価格を混同するな!
	そもそも原価管理って何?
	原価計画と原価統制の違いを説明できるか?
	コストリダクションの技術とは?
2. モノ作りの基本は原単位にあり	原価計算の基本の基本を知る
	原単位を明確に説明できるか?

■セクションⅡ 品質管理の基本を学ぶ

1. 品質管理のイロハ	三つの品質とは?
	そもそも品質管理って何?
	品質改善の効果とコストの関係を学ぶ
2. 検査を無視するな	検査を計画することが先決だ!
3. ISO9000に騙されるな	検査結果を記録しなければ、検査にあらず!
	対策は後から、まずは不良品を処置せよ
	不良原因の分析と対策には時間をかけてもいい(実習)
4. 日本のQCを見直せ	上流部門へのフィードバックがキーポイント
	品質改善は、QCストーリーがベース
	初期管理をすればラクになる

■セクションⅢ 多品種少量・短納期に勝つ方法

1. 多品種少量・短納期は避けられないのか?	なぜ多品種少量・短納期生産が横行するのか?
	多品種少量・短納期はどのような問題点をもたらすのか?
	多品種少量・短納期の上手な対応方法
2. 段取り時間の削減方法	段取り時間短縮のメリットを列記できるか!?
	どうすれば簡単に段取り時間が短縮できるのか?
3. リードタイム短縮方法	リードタイムの種類を知っているか?
	リードタイム短縮のメリットを列記できるか!?
	すぐ出来るリードタイム短縮のテクニック

■セクションⅣ 宿題

1. 前回の宿題のフォローアップ	工場診断の進め方、個人ミッションの作成と改善の実行
2. 次回の宿題について	次回の宿題について(最終回につき、講師の評価結果は郵送となります。)



年月日	参加企業数	参加者人数
金沢校 2007年10月~2008年1月(全4日間)	17	27
東京校 2008年3月~6月(全4日間)	20	28

なお、個別企業様への訪問研修は、過去12年で30回以上実施しております。(多すぎて書ききれません)。

受講者の声 ●自分の会社の混乱原因が、生産管理にあるということが分かりました(富山市のHさん) ●セミナーを受講後、新たな気持ちで現場に帰られたことが一番の収穫(金沢市のIさん) ●生産管理技術の再認識と同時に、自分の至らぬ点がはっきりとしました(小松市のDさん) ●演習や実習が中心だったので、眠くならなかった(福井市のSさん) ●実習を取り入れた研修会だったので、すごくわかりやすかった(金沢市のMさん)

- ◆実施日時 第1回：2008年9月13日(土) 10:00~17:00
- 第2回：2008年10月4日(土) 10:00~17:00
- 第3回：2008年11月1日(土) 10:00~17:00
- 第4回：2008年12月6日(土) 10:00~17:00

◆場所 (財)石川県地場産業振興センター
(〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地 TEL076-268-2010)

◆参加費用 全4回の総合計：88,000円/1人(税込み価格92,400円/1人) 4回コースを分割して受講することはできません。また途中欠席されても返金はできませんので、ご了承ください。

◆定員 30名

◆お申し込み方法 下記の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX(0761-57-1679)にてお送り下さい。後日、FAXにて受講票及び請求書を送信させていただきますので参加料金を指定口座へお振込み下さい。

◆お問い合わせ先
株式会社 西田経営技術士事務所
〒923-1114 石川県能美市小杉町イ240番地1
TEL 0761-58-6535 FAX 0761-57-1679
<http://www.ni-g-j.co.jp/> e-mail:daihyou@ni-g-j.co.jp
お問い合わせ担当者 総務：西田美智代



【プログラム開発者】西田 順生

にしだ じゅんせい/生産管理専門のコンサルティング会社 株式会社 西田経営技術士事務所 代表取締役・技術士(経営工学部門)
1977年、神奈川大学工学部工業経営科へ入学し、生産管理技術に魅了される。1981年同学科卒業。(株)村田製作所グループ、(株)ナオにて、生産管理、外注管理、購買業務の経験を経て、1996年にコンサルタントとして独立。優良企業での実務経験とコンサルティング現場で培ったコスト・プライシングシステムで脚光を浴び、東京を中心に全国でコンサルティング、講演活動を行っている。●主著/「作る前にコストダウンする技術(PHP研究所)」「粗利を2倍にする価格決定論(PHP研究所)」「生産革命 変種変量生産しか儲からない(泉文堂)」その他4冊、日経BIZホームページ連載



【講師】早川 一彦

「工場管理者」育成のプロが指導! 工場管理者に対し、体系的な実践指導できる数少ないコンサルタント。金属加工、プラスチック成形、印刷……どんなモノを作ろうが、生産管理の手法や考え方、工場管理者に求められる役割と実務は変わらない。問題なのは、工場管理者が自身の本当の役割と、実践手法を十分に知らないことだ!
(株)クボタにて、一貫して生産管理・生産技術・品質管理業務に従事。その卓越した工場管理の知識と実務手腕から、クボタの利益創出となる工場部門の管理者育成に努める。氏の下で教育を受けた工場管理者は600名を超える。現在、プログラム開発者の西田順生の右腕として中小企業のコンサルティングを行う。また法政大学環境管理研修講座の管理責任者として活躍中。

研修会申し込み書

FAX 0761-57-1679

ふりがな			
会社名			
所在地	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
TEL番号			FAX番号
連絡担当者	部署	氏名(ふりがな)	
参加者	役職名	ふりがな 氏名	役職名 氏名
	役職名	ふりがな 氏名	役職名 氏名
	役職名	ふりがな 氏名	役職名 氏名

※入手した個人情報につきましては、本セミナーの連絡および弊社活動のご案内のみに使用させていただきます。
※当社代表取締役 西田順生は、わが国の「技術士法」によって、「守秘義務」「信用失墜行為の禁止」が課せられていますので、ご安心ください。